

NEWS RELEASE

2010年6月17日
株式会社三菱総合研究所

日銀短観（2010年6月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 田中将介 東京都千代田区大手町二丁目3番6号）では、7月1日（木）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2010年6月調査」の業況判断DIと設備投資計画について予測を行った。

1. 業況判断DI

大企業・製造業の業況判断DI ——— ▲ 3%ポイント（3月調査比 +11%ポイント）
大企業・非製造業の業況判断DI ——— ▲ 7%ポイント（3月調査比 + 7%ポイント）

今回の業況判断DI（大企業）は、輸出の拡大や消費の堅調を受け、企業の売上・収益が回復傾向にあることから、製造業、非製造業ともに一段の改善を見込む。

製造業については、自動車や一般機械、鉄鋼などの出荷が、海外向けを中心に順調に回復していることから、輸出産業を中心に業況感は改善を続けると予想する。

非製造業については、デフレ圧力は依然として残っているものの、個人消費が回復傾向にあるほか、製造業の持ち直しが運輸など他業種にも波及しつつあり、業況感の改善を見込む。

規模別については、中堅・中小企業でも業況感の改善が進むが、改善ペースは大企業に比べて緩やかなものに止まると予想する。

先行きについては、引き続き改善を見込むが、既往の政策効果の剥落や欧州財政問題に端を発する世界金融市場の不安定化など、企業をとりまく環境には不透明感もあり、業況感の改善幅は徐々に縮小していくと予想する。

日銀短観（6月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2009年 12月	2010年 3月	2010年 6月	2010年 9月
		12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	6月調査 「最近」	6月調査 「先行き」
大企業	全産業	▲23	▲14	▲5	▲1
	製造業	▲25	▲14	▲3	0
	非製造業	▲21	▲14	▲7	▲2
中堅企業	全産業	▲27	▲20	▲13	▲14
	製造業	▲28	▲19	▲10	▲11
	非製造業	▲27	▲21	▲16	▲16
中小企業	全産業	▲37	▲31	▲26	▲30
	製造業	▲41	▲30	▲23	▲26
	非製造業	▲34	▲31	▲27	▲32

注1：シャドー部分が6月調査の予測値。

注2：計表中の計数は、2010年3月調査における調査対象企業見直し後の新ベース。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

2. 設備投資計画

10年度設備投資額の計画については、全規模・全産業で前年度比▲0.3%と、3月調査から+3.6%ポイントの上方修正を予想する。製造業は前年度比+4.0%（+6.4%ポイントの上方修正）、非製造業は前年度比▲1.8%（+2.6%ポイントの上方修正）を見込んだ。

先行きについては、設備投資が10年後半から緩やかながらも回復してくると見込まれ、設備投資計画も、今後緩やかに上方修正されていくと予想する。

なお、09年度設備投資額の実績については、全規模・全産業が、前年度比▲18.6%と3月調査から▲0.8%ポイントの小幅下方修正を予想する。

表 日銀短観（6月調査）設備投資計画 予測結果

単位：前年度比%		2009年度		2010年度	
		3月調査 実績見込み	6月調査 実績 (予測)	3月調査 計画	6月調査 計画 (予測)
全規模	全産業	▲ 17.8	▲ 18.6	▲ 3.9	▲ 0.3
	製造業	▲ 30.9	▲ 32.4	▲ 2.4	4.0
	非製造業	▲ 11.1	▲ 11.5	▲ 4.4	▲ 1.8
大企業	全産業	▲ 14.2	▲ 16.1	▲ 0.4	3.1
	製造業	▲ 30.0	▲ 32.5	▲ 0.9	6.0
	非製造業	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 0.2	1.9
中堅企業	全産業	▲ 27.8	▲ 26.7	▲ 5.6	▲ 2.2
	製造業	▲ 34.3	▲ 34.2	4.2	8.6
	非製造業	▲ 24.7	▲ 23.2	▲ 9.7	▲ 6.8
中小企業	全産業	▲ 23.5	▲ 21.0	▲ 19.4	▲ 14.7
	製造業	▲ 31.9	▲ 29.8	▲ 17.9	▲ 12.0
	非製造業	▲ 20.1	▲ 17.4	▲ 19.9	▲ 15.6

注：シャド一部分が6月調査の予測値。

表の設備投資計画は「設備投資額（含む土地投資額）」。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。